

所属

健康推進課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-1 健康意識を高め健康寿命の延伸を図ります

施策

2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進

創生総合戦略

該当なし

目的

1 ライフステージごとに生涯を通じた心身の健康づくりを推進します。

目標

1 ライフステージごとの生涯健康づくりの推進と生活習慣病の発症予防

ライフステージに即した健康づくりを推進し、生涯を通じて心身ともに健康でいる期間を長く保ちます。生活習慣の見直しや運動習慣を身につけることにより、生活習慣病の発症予防やフレイルの予防を図ります。

2 疾病の早期発見、早期治療の促進及び重症化の予防

各種健（検）診の受診率向上と保健指導及び相談を通して、疾病の早期発見、早期治療を促します。また、生活習慣の改善や予防接種等を推進し、症状の進行や合併症等による重症化を予防します。

実績

1 ライフステージごとの生涯健康づくりの推進と生活習慣病の発症予防

（1）妊娠期・乳幼児期の市民を対象に妊婦健康診査を延1,185人、乳幼児健康診査を延482人に実施し、生涯の健康の基盤となる子どもの健全な発育支援をしました。成人期の市民には、法定年齢前の20-39歳を対象に健康診査を192人に実施、要指導者34人には保健指導を実施し生活習慣病の発症予防に取り組みました。さらに健康の気づきから健康づくりの定着に向け、かみのやま健康ポイント事業を実施し、1,428人が自主的に健康づくりに取り組みました。

2 疾病の早期発見、早期治療の促進及び重症化の予防

（1）受診行動を促すために受診までの「動作指示」を分かりやすく表記、さらには検診の「お得感」を見せる等周知方法を工夫し受診率向上に向けて取り組みました。健診結果により検診機関と連携し早期の受診勧奨、個別支援を行い重症化予防を図りました。未申込者・未受診者については適時に受診勧奨を行い疾病の早期発見に取り組みました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	特定健診受診者でBMIが25以上の方の割合	22 %	29 %
	特定健診受診者でメタボリックシンドロームや予備群判定者の特定保健指導実施率	71 %	76 %

理由 ※令和５年度目標と令和５年度実績の間に乖離がある場合

B M I 25以上の方の割合については山形県よりは低くなっていますが、50歳代男性の割合が特に高い状況にあり、全体の平均を押し上げているためです。その世代への肥満による生活習慣病のリスクについての情報発信不足、効果的な支援不足が考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

20－39健診からの保健指導を継続導入する等、リスクの高い方には年齢の若いうちから生活習慣改善への意識づけや行動変容に繋がる様に支援をしてまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	診療所運営費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	2－1－1 生涯を通じた健康づくりの推進			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進

事業概要

山元診療所の管理・運営費であり、診療日時は毎週火曜日の午後2時～5時まで、年間53日開所しています。なお、診療業務は社会医療法人みゆき会みゆき会病院へ委託して実施しており、本診療所は昭和32年に旧山元村が合併する際に設置を求めて設けられた施設です。

目的

医療機関に通院しにくい環境にある山元地区の高齢者等が、診療を受けやすい環境をつくり、高齢者等の健康を守るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	山元地区民等が、安心して健康に暮らせる状態	年間53日診療所を開設している状態	年間53日診療所を開設しました。
活動指標	年間開所日数	53 日	53 日
事業費（千円）		2,596	2,126
従事人工		0.3	0.3

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

地域で安心して生活できるよう、今後も診療所を継続的に開設していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	救急医療対策費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	2－1－1 生涯を通じた健康づくりの推進			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進 5 連携施策等 広域的な行政体制づくり 広域行政体制の積極的推進

事業概要

救急業務等の円滑な運営を図るため、関係機関、団体との連携を図りながら、夜間や休日など市民が安心して暮らせるための救急医療体制の充実を図ります。

目的

市民が安心して暮らせるよう、休日や夜間の急病時の初期対応が可能な一次医療体制を構築するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市内医療機関の開業時間外の市民の急病に際し、一次救急を行う当番医体制が構築されている	休日、平日夜間の当番医が開設している状態	休日、平日夜間当番医を開設しました。
活動指標	休日当番医委託日数割合	100 %	100 %
	平日夜間当番医委託日数割合	100 %	100 %
事業費（千円）		46,949	46,784
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も休日、平日夜間当番医を継続し、体調不良時には一般診療時間外でも診察を受けることができる体制を維持していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	地域精神保健事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	2－1－1 生涯を通じた健康づくりの推進			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進

事業概要

精神保健に関する相談や指導を行い、健康の保持増進を支援します。 自殺対策における取組として、対面型相談事業や若年層対策事業、普及啓発事業等を実施します。

目的

こころの健康の保持増進を支援し、市民の精神保健の向上を図る。また、生きることの包括的な支援により、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現をめざすため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民がともに支え合いながら健康で心豊かに生活できる状態	困っている人に対して、市民同士で必要な支援を受けるための相談窓口があることを声掛けできる状態	相談窓口等の周知など自殺予防に関する普及啓発を行いました。
活動指標	こころの健康に関する普及啓発	15 回	16 回
	上山市自殺対策連絡協議会の開催	2 回	2 回
事業費（千円）		817	647
従事人工		1.7	1.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

第2期自殺対策計画を策定し、関係機関と連携を図りながら自殺予防対策を推進していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	予防事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・02予防費
施策	2－1－1 生涯を通じた健康づくりの推進			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進

事業概要

予防接種法に基づき乳幼児や高齢者等の定期予防接種等を推進し、疾病の予防や重症化予防を図ります。また、新型コロナウイルス感染症予防のための啓発等を行っています。

目的

予防接種法等に基づき、感染症の発生及びまん延を予防するため公衆衛生の見地から予防接種の実施やその他必要な措置を講じ、市民の健康の保持を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適切な時期に接種できる状態	適切な時期に勧奨している状態	適切な時期に接種できるよう勧奨を行いました。
活動指標	乳幼児の定期予防接種勧奨回数	4 回	4 回
	成人男性風しん抗体検査の受診勧奨回数	1 回	1 回
	高齢者肺炎球菌予防接種の通知回数	2 回	2 回
事業費（千円）		82,808	59,555
従事人工		1.5	1.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

適切な時期に接種できるよう勧奨を行いました。が、想定していたよりも接種者が少なく、予防接種に係る委託料の支払いが減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

適切な時期に接種を受けることができるよう接種勧奨を継続するとともに、接種体制を確保していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

健康推進課

事業

新型コロナワクチン接種事業費

予算科目

01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・02予防費

施策

2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進

創生総合戦略

4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進

事業概要

予防接種法に基づき新型コロナワクチン接種を推進し、新型コロナウイルス感染症の予防や重症化予防を図ります。また、新型コロナウイルス感染症予防のための啓発等を行っていきます。

目的

予防接種法（臨時接種）等に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延を予防するため予防接種を実施し、市民の生命及び健康の保持を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適切な時期に接種できる状態	適切な時期に接種体制を確保している状態	適切な時期に接種体制を確保し、予防接種を実施しました。
活動指標	集団接種会場設置数	1 箇所	1 箇所
	個別接種実施医療機関数	10 箇所以上	10 箇所以上
事業費（千円）		265,131	241,966
従事人工		4	4

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度末で事業終了しました。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	保健センター管理費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・03保健衛生施設費
施策	2－1－1 生涯を通じた健康づくりの推進			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進

事業概要

利用者が安全で快適に使用するための維持管理を行うとともに、古い設備、建物の不具合箇所を中心に改修を行います。

目的

市民に対し、健康相談や保健指導、健康診査、その他母子保健事業などの地域保健活動を安全かつ快適に実施するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	保健センターが安全かつ快適に使用できる状態	安全に利用できる環境の状態	安全に利用できるよう管理しました。
活動指標	消防設備の点検回数	2 回	2 回
	業者による清掃回数	3 回	3 回
事業費（千円）		1,878	1,487
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も小規模の改修工事を行いながら、市民が安全に使用できるように管理していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	保健対策推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

健康づくりに関する方策及び推進等の協議を行い、地域の特性を踏まえた地域活動や健康データを活かした市民への訴求力の高い健康支援を実施します。

目的

市民の健康に関する各種データや健康施策に関する必要な情報をもとに実効性の高い事業を展開し、市民の健康寿命の延伸を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民の保健衛生が推進されている状態	各関係機関と市民の健康づくりに関する協議が行われ、健康増進計画が推進されている状態	各関係機関と健康増進計画の進捗状況の確認、健康づくり事業について協議を行いました。
活動指標	上山市健康づくり推進協議会開催回数	1 回	1 回
事業費（千円）		4,487	3,744
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

健康づくりの成果や目標の達成状況などを検証し、関係機関と協議し健康課題解決に向けた実効性の高い事業を継続して実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

健康推進課

事業

健康増進事業費

予算科目

01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費

施策

2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備

創生総合戦略

4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

健康増進法に基づき、健康教育、健康相談、健康診査、肝炎ウイルス検査等の保健事業を実施します。

目的

市民の健康意識を高めるとともに、生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康保持・増進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	生活習慣病が予防され、健康的な生活習慣の獲得、健康保持・増進が図られている状態	一定程度の市民が各種健康教室等への参加や自主的な健康づくり等を行っている状態	生活習慣病発症リスクの高い方を対象に、予防・生活習慣の改善に繋がる各種健康教室を実施しました。
活動指標	糖尿病予防教室開催回数	6 回	6 回
	高血圧予防教室開催回数	9 回	9 回
事業費（千円）		6,668	5,055
従事人工		2.5	2.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

積極的に健康づくりができる環境を整備するとともに、生活習慣病発症リスクの高い方へのアプローチや生活習慣に即した実効性の高い事業を展開し、健康課題解決へ取り組んでいきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	がん検診推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

がん予防に対する正しい知識の普及啓発及び各種がん検診等を実施します。

目的

無症状のうちに早期にがんを発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させ、健康寿命の延伸を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	各種がん検診受診者が増加している状態	適切な時期に受診勧奨している状態	受診勧奨資材を工夫し、適切な時期に受診勧奨をしました。
活動指標	各種がん検診受診勧奨回数	2 回	2 回
事業費（千円）		29,518	21,729
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

職場での福利厚生を活用しての受診者が一定数いることにより、検査委託料が減となっております。

目標の実現に向けた今後の取組

特にがん検診が推奨される適正年齢の方を対象に効果的な媒体で、がん予防についての正しい知識の普及、がん検診の重要性、受診勧奨を強化してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	上山型温泉クアオルト事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

地域資源を活用し年間を通して楽しく安全に取り組める健康づくりとして、毎日ウォーキング等を実施します。

目的

市民が地域資源を活用し楽しみながら健康づくりを継続し、疾病予防、健康寿命の延伸を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	楽しく健康づくりに取り組んでいる市民が増加している状態	実施効果が明確化され、多くの市民が楽しく安全に健康づくりに取り組んでいる状態	市民が安全に楽しく運動ができ、さらには習慣化につながるよう専門ガイドと連携し毎日ウォーキングを実施しました。
活動指標	毎日ウォーキング開催日数	359 日	360 日
事業費（千円）		1,490	1,199
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

地域資源を活用したウォーキングの効果や魅力を発信し新規参加者の拡大を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	健康づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

ICTを活用した健康ポイント事業を中心に、自主的な健康づくりを促す「運動」「栄養」「健康教育」等の健康増進プログラムを一体的に提供し、市の健康課題（糖尿病、高血圧症等）解決に向けた総合的な健康づくりを行うとともに健康づくり担い手育成をします。

目的

健康無関心層を含めた市民の健康づくりに向けた意識を喚起し、市の健康課題である糖尿病、高血圧、筋骨格系疾患等の発症及び重症化予防を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市の健康課題（糖尿病、高血圧等）が改善し、健康増進が図られている状態	活動量計を活用し、自主的に健康づくり等を行い、市の健康課題が改善されている状態	自主的に楽しみながら健康づくりが継続できるように健康教育と取組成果の確認、モチベーションアップに繋がるイベント等を実施しました。
活動指標	本事業に関する教室等（説明及び測定会、講習会等）の開催回数	27 回	42 回
事業費（千円）		4,921	3,626
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

参加者のニーズに応じた教室を実施したこと、測定の結果をもとにハイリスク者への取組を強化したことにより開催回数が増となっております。

目標の実現に向けた今後の取組

活動量計を活用した保健指導や健康教室を実施し、健康無関心層の参加を促し引き続き健康課題解決に取り組んでまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	健診推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

歯科保健を含めた総合的な健康づくりとして下記の事業を実施します。 ①2歳児歯科健診、フッ化物塗布、フッ化物洗口の実施 ②妊婦歯科健診の実施 ③法定健診年齢前の年代への各種健診等の実施

目的

若年層から健康への関心を高め、健康的な生活習慣を獲得および疾病予防に繋げるため。また、生活習慣が確立する幼児期からの健康づくりの重要性を普及啓発し子どもの健全な成長発達、ひいては保護者の健康保持・増進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	歯科保健を含めた疾病の早期発見、早期治療並びに疾病の予防が図られ、健康増進がされている状態	一定程度の市民が各種健診の受診や自主的な健康づくり等を行っている状態	各種健診事業を実施し、その周知を行いました。
活動指標	歯科保健に関する健康づくり実施回数	33 回	23 回
	各種健診に関する市報などによる周知回数	3 回	3 回
事業費（千円）		5,451	3,719
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

健診対象者が減少し、フッ化物塗布を月1～2回から1回に減らして実施したため実施回数は減少しましたが、対象となる子ども全てに事業を実施できました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も若い方の健診（20歳～39歳）や歯科健診等の保健事業を推進するとともに、さらに受けやすい環境を整えていきます。

所属 健康推進課 振興計画 第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-1 健康意識を高め健康寿命の延伸を図ります 施策 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備

創生総合戦略 4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備

目的

2 地域全体で取り組む健康づくりを支援します。

目標

1 市民主体の地域で取り組む健康づくりへの支援と環境整備

健康づくりがより身近になり、日常生活の中で取り組めるよう、公民館活動等との連携をさらに強め、各地区での健康教室や介護予防事業の実施等、地域の健康づくりを推進していきます。また、百歳体操等、公民館や地区のサロンで行われる市民主体の健康づくりに向けた取組も支援していきます。健康づくりを支援する環境整備については、クアオルト健康ウォーキングを年間を通して開催するほか、新たな健康ポイント事業を展開する等、気軽に健康づくりに取り組める環境を整備します。また、個人の体力レベルに応じた健康づくりを進めるため、クアオルト健康ウォーキングコースの整備等により多様な運動の場の提供を図り、健康増進から介護予防まで生涯を通じて切れ目のない総合的な健康づくりを展開します。

実績

1 市民主体の地域で取り組む健康づくりへの支援と環境整備

(1) 地域資源を活かし毎日ウォーキングを360回、楽しく健康づくりができる健康ポイント事業の読取端末を37か所に設置し、住み慣れた地域をフィールドに健康づくりができる環境を整備しました。さらに居住地に近い場所で健康づくりを学び、実践できる機会を創出し、市民が主体的に健康づくりに取り組めるように延29,389人に支援を実施しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	健康づくり教室等の参加者数	26,000 人	29,389 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

百歳体操、かみかみ百歳体操の実施地区や健康ポイント事業参加者が増えたことによる増加となっております。

目標の実現に向けた今後の取組

身近な場所で仲間と一緒に健康づくりが学べ、実践できる環境を整備してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市政戦略課	事業	上山型温泉クアオルト事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2－1－2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト だれもが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくり

事業概要

恵まれた自然環境を活用し、市民の健康増進を目的に、認定コースやクアの道等の適正な維持管理など、年間を通して楽しく安全に健康づくりに取り組める環境の整備を推進します。

目的

クアオルト健康ウォーキングを中心に、地域資源を活かして市民が楽しく健康づくりに取り組める環境を整備し、市民及び市内事業者が本事業に積極的に関わられるきっかけを作るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民や市内事業者が、クアオルトを正しく理解し、何らかの形で積極的に関わっている状態	市民が楽しく安全にウォーキングできる環境を整え、参加市民が徐々に増える状態	市民が楽しく安全にウォーキングできる環境が整い、市民及び市内事業所に浸透しはじめ、参加市民が徐々に定着してきました。
活動指標	出前講座開催回数	—	—
	クアオルト講座開催回数	40 回	33 回
事業費（千円）		2,352	2,056
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

認定コースの維持管理をはじめ、新たなコースの設置など、市民が楽しく安全に健康づくりに取り組める環境の充実を図るとともに、市内企業等に対してクアオルト健康ウォーキングをはじめとした健康づくりを提案してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	保健対策推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

健康づくりに関する方策及び推進等の協議を行い、地域の特性を踏まえた地域活動や健康データを活かした市民への訴求力の高い健康支援を実施します。

目的

市民の健康に関する各種データや健康施策に関する必要な情報をもとに実効性の高い事業を展開し、市民の健康寿命の延伸を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民の保健衛生が推進されている状態	各関係機関と市民の健康づくりに関する協議が行われ、健康増進計画が推進されている状態	各関係機関と健康増進計画の進捗状況の確認、健康づくり事業について協議を行いました。
活動指標	上山市健康づくり推進協議会開催回数	1 回	1 回
事業費（千円）		4,487	3,744
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

健康づくりの成果や目標の達成状況などを検証し、関係機関と協議し健康課題解決に向けた実効性の高い事業を継続して実施してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	健康増進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

健康増進法に基づき、健康教育、健康相談、健康診査、肝炎ウイルス検査等の保健事業を実施します。

目的

市民の健康意識を高めるとともに、生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康保持・増進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	生活習慣病が予防され、健康的な生活習慣の獲得、健康保持・増進が図られている状態	一定程度の市民が各種健康教室等への参加や自主的な健康づくり等を行っている状態	生活習慣病発症リスクの高い方を対象に、予防・生活習慣の改善に繋がる各種健康教室を実施しました。
活動指標	糖尿病予防教室開催回数	6 回	6 回
	高血圧予防教室開催回数	9 回	9 回
事業費（千円）		6,668	5,055
従事人工		2.5	2.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

積極的に健康づくりができる環境を整備するとともに、生活習慣病発症リスクの高い方へのアプローチや生活習慣に即した実効性の高い事業を展開し、健康課題解決へ取り組んでいきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	がん検診推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

がん予防に対する正しい知識の普及啓発及び各種がん検診等を実施します。

目的

無症状のうちに早期にがんを発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減少させ、健康寿命の延伸を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	各種がん検診受診者が増加している状態	適切な時期に受診勧奨している状態	受診勧奨資材を工夫し、適切な時期に受診勧奨をしました。
活動指標	各種がん検診受診勧奨回数	2 回	2 回
事業費（千円）		29,518	21,729
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

職場での福利厚生を活用しての受診者が一定数いることにより、検査委託料が減となっております。

目標の実現に向けた今後の取組

特にがん検診が推奨される適正年齢の方を対象に効果的な媒体で、がん予防についての正しい知識の普及、がん検診の重要性、受診勧奨を強化してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	上山型温泉クアオルト事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

地域資源を活用し年間を通して楽しく安全に取り組める健康づくりとして、毎日ウォーキング等を実施します。

目的

市民が地域資源を活用し楽しみながら健康づくりを継続し、疾病予防、健康寿命の延伸を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	楽しく健康づくりに取り組んでいる市民が増加している状態	実施効果が明確化され、多くの市民が楽しく安全に健康づくりに取り組んでいる状態	市民が安全に楽しく運動ができ、さらには習慣化につながるよう専門ガイドと連携し毎日ウォーキングを実施しました。
活動指標	毎日ウォーキング開催日数	359 日	360 日
事業費（千円）		1,490	1,199
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

地域資源を活用したウォーキングの効果や魅力を発信し新規参加者の拡大を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	健康づくり推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

ICTを活用した健康ポイント事業を中心に、自主的な健康づくりを促す「運動」「栄養」「健康教育」等の健康増進プログラムを一体的に提供し、市の健康課題（糖尿病、高血圧症等）解決に向けた総合的な健康づくりを行うとともに健康づくり担い手育成をします。

目的

健康無関心層を含めた市民の健康づくりに向けた意識を喚起し、市の健康課題である糖尿病、高血圧、筋骨格系疾患等の発症及び重症化予防を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市の健康課題（糖尿病、高血圧等）が改善し、健康増進が図られている状態	活動量計を活用し、自主的に健康づくり等を行い、市の健康課題が改善されている状態	自主的に楽しみながら健康づくりが継続できるように健康教育と取組成果の確認、モチベーションアップに繋がるイベント等を実施しました。
活動指標	本事業に関する教室等（説明及び測定会、講習会等）の開催回数	27 回	42 回
事業費（千円）		4,921	3,626
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

参加者のニーズに応じた教室を実施したこと、測定の結果をもとにハイリスク者への取組を強化したことにより開催回数が増となっております。

目標の実現に向けた今後の取組

活動量計を活用した保健指導や健康教室を実施し、健康無関心層の参加を促し引き続き健康課題解決に取り組んでまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	健診推進事業費	予算科目	01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・05健康増進事業費
施策	2-1-1 生涯を通じた健康づくりの推進 2-1-2 健康づくりを支援する環境整備			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 健康づくりを支援する環境整備 市民の健康づくりの推進

事業概要

歯科保健を含めた総合的な健康づくりとして下記の事業を実施します。 ①2歳児歯科健診、フッ化物塗布、フッ化物洗口の実施 ②妊婦歯科健診の実施 ③法定健診年齢前の年代への各種健診等の実施

目的

若年層から健康への関心を高め、健康的な生活習慣を獲得および疾病予防に繋げるため。また、生活習慣が確立する幼児期からの健康づくりの重要性を普及啓発し子どもの健全な成長発達、ひいては保護者の健康保持・増進を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	歯科保健を含めた疾病の早期発見、早期治療並びに疾病の予防が図られ、健康増進がされている状態	一定程度の市民が各種健診の受診や自主的な健康づくり等を行っている状態	各種健診事業を実施し、その周知を行いました。
活動指標	歯科保健に関する健康づくり実施回数	33 回	23 回
	各種健診に関する市報などによる周知回数	3 回	3 回
事業費（千円）		5,451	3,719
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

健診対象者が減少し、フッ化物塗布を月1～2回から1回に減らして実施したため実施回数は減少しましたが、対象となる子ども全てに事業を実施できました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も若い方の健診（20歳～39歳）や歯科健診等の保健事業を推進するとともに、さらに受けやすい環境を整えていきます。

所属

健康推進課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-2 保健・医療・介護・福祉の総合的連携を進めます

施策

2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実

創生総合戦略

該当なし

目的

1 生涯安心して地域で生活できるよう、保健・医療・介護・福祉の連携を強化し、包括的なケア体制の充実と医療体制等の連携調整を推進します。

目標

1 関係機関との連携強化

様々な生活問題や健康問題に対応するためには、多面的な関わりが不可欠となります。妊娠期から高齢期まで生涯を通して市民が地域で安心して生活できるよう、包括的な連携体制の充実を図っていきます。また、障がい者支援や母子保健、疾病予防や介護の問題における連携や対応に加え、自殺対策や災害時においても新たに連携体制を構築します。

実績

1 関係機関との連携強化

(1) 保健・医療・介護・福祉等が連携した市民対応を行いました。また自殺予防対策においては、上山市自殺対策連絡協議会を開催し、市内関係機関との情報共有を図り連携を強化しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	自殺死亡率（人口10万対）	18.6 人	3.4 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

各分野において、関係機関と連携したケース会議等を実施しながら市民への対応を行ってきたことや、自殺予防対策として、相談窓口や心の健康づくり等の情報発信をきめ細やかに行ってきたためと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も市民が安心して生活できるよう、各関係機関との連携を更に深め、体制強化していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 健康推進課 事業 後期高齢者医療事業費 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費

施策 2－2－1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

後期高齢者の療養給付費を山形県後期高齢者医療広域連合に負担します。

目的

後期高齢者の療養給付費を山形県後期高齢者医療広域連合に負担し、適正な運営をするため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	療養給付費負担を適正にしている状態	適切な支払いをしている状態	—
活動指標	負担額	453,662 千円	445,162 千円
事業費（千円）		453,662	445,162
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 健康推進課 事業 後期高齢者医療特別会計繰出金 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費

施策 2－2－1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

後期高齢者医療制度により、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。 ・基盤安定繰出金 103,438,386円 国の制度による低所得者への保険料軽減措置に伴う県及び市町村の財源補填、県3/4、市1/4の負担（広域連合による積算額） ・事務費繰出金 23,685,795円 均等割10%＋高齢者人口割45%＋人口割45%（広域連合による積算額） ・その他繰出金 8,644,000円

目的

後期高齢者医療制度に基づき、一般会計による適正な繰り出しを行うため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	制度に基づき適正に繰出されている状態	適正な繰出しをしている状態	—
活動指標			
事業費（千円）		135,769	129,042
従事人工		0.1	—

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 健康推進課 事業 重度心身障がい（児）者医療給付費 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・05医療給付費

施策 2－2－1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

重度心身障がい（児）者に対し、医療機関等での窓口負担を助成します。 ◇受給者数 700人 ◇給付対象者：身体障害者手帳1級、2級所持、療育手帳A所持者、公的年金各法の障害等級1級の障害年金受給権者、特別児童扶養手当1級該当者等 ※所得制限：自立支援医療の所得制限額（市民税所得割額23万5千円未満）

目的

重度心身障がい（児）者に対する医療給付において、医療機関等での窓口負担を助成し、負担を軽減するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	給付費の適切な支払いをしている状態	適切な給付をしている状態	適正に給付しました。
活動指標	給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		101,259	100,756
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も適正な給付を実施し、経済的負担を軽減していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	子育て支援医療給付費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・05医療給付費
施策	2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 子育て支援サービスの充実

事業概要

高校生までの子どもに対する医療機関等での窓口負担を助成します。 ◇受給者数 県単独分1,550人、市単独分1,740人（小学生580人、中学生580人、高校生580人） ◇給付対象 県単独分：未就学児、小学1～3年生の外来、小中学生の入院（一部負担金有） 市単独分：高校生までの窓口負担を無料化（県単独分で一部負担金有の者も含む）

目的

小、中学生及び高校生に対する医療給付において、医療機関等での窓口負担を無料にし、子育てを支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	高校生までの医療費が無料化されている状態	高校生までの外来・入院の窓口負担を無料化している状態	高校生等までの外来・入院の窓口負担を無料化しました。
活動指標	給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		135,873	135,375
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も適正な給付を実施し、経済負担を軽減していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

健康推進課

事業

ひとり親家庭等医療給付費

予算科目

01一般会計・03民生費・01社会福祉費・05医療給付費

施策

2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実

創生総合戦略

3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 安心して子育てできる仕組みづくり 子育て支援サービスの充実

事業概要

ひとり親家庭等に対する医療機関等での窓口負担を助成します。 ◇受給者数 260人 ◇給付対象者 母子家庭、父子家庭及びDV防止法により保護命令を受けた被害者で18歳以下の児童を扶養し、所得税非課税の者 上記に掲げる者に扶養されている18歳以下の児童、父母のない18歳以下の児童

目的

ひとり親に対する医療給付において、医療機関等での窓口負担を軽減し、子育てを支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	給付費の適正な支払をしている状態	適正な給付をしている状態	適正に給付しました。
活動指標	給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		12,604	12,576
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も適正な給付を実施し、経済負担を軽減していきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 健康推進課 事業 後期高齢者特定健康診査等受託事業費 予算科目 01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・06特定健康診査等受託事業費

施策 2－2－1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

後期高齢者の健康診査を実施します。 受診者数 1,200人 受診機関 やまがた健康推進機構、市内医療機関

目的

健康診査を実施し、病気の早期発見を図り、重症化を予防するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	健康診査受診者が増加している状態	後期高齢者が健康に関心を持つ状態	後期高齢者が健康に関心を持てるように受診勧奨しました。
活動指標	未受診者への受診勧奨回数	1 回	1 回
事業費（千円）		18,462	17,409
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、健康に関心を持ち、健康診査を受診していただけるよう、受診勧奨を継続し実施します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	介護保険利用者負担軽減事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 2-3-1 地域支援事業の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

社会福祉法人が実施する利用者負担の軽減に対する補助を行います。

目的

低所得者の負担軽減を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適正に支出された状態	適正に支出された状態	適正に支出しました。
活動指標	軽減補助が該当する社会福祉法人数	7 法人	5 法人
事業費（千円）		1,279	1,279
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

軽減補助を受けることのできる金額に達する社会福祉法人が2法人減になったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

継続して、利用者負担の軽減が図られるよう働きかけていきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	在宅高齢者支援事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 2-3-1 地域支援事業の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

介護保険以外の各種在宅福祉サービスに係る事業を実施します。

目的

在宅での生活を支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	在宅での生活が支援された状態	在宅での生活が支援された状態	在宅での生活を支援しました。
活動指標	各種サービスの種類	9 種類	9 種類
事業費（千円）		8,151	4,380
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

生活管理指導短期宿泊事業の利用者がいなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、高齢者が在宅で生活するための支援に取り組んでいきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	介護保険特別会計繰出金	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 2-3-1 地域支援事業の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

介護保険特別会計へ繰出しを行います。

目的

介護保険事業実施に対する市負担分等を介護保険特別会計に繰り入れるため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適正に支出された状態	適正に支出された状態	適正に支出しました。
活動指標			
事業費（千円）		604,128	577,619
従事人工		0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

健康推進課

事業

後期高齢者保健・介護予防一体的実施業務
受託事業費

予算科目

01一般会計・04衛生費・01保健衛生費・06特定健康診査等受託事業費

施策

2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実

創生総合戦略

該当なし

事業概要

山形県後期高齢者医療広域連合と市町村が協力して、後期高齢者の健康維持・フレイル予防に努める「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に取り組めます。

目的

介護予防を行う介護保険担当と、住民の健康づくりを行う保健衛生部門と健康診断等を行う広域連合が連携し、後期高齢者の健康維持・フレイル予防を推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	後期高齢者の健康が維持されている状態	後期高齢者の健康が維持されている状態	後期高齢者の健康が維持されました。
活動指標	通いの場の開催回数	50 回	71 回
事業費（千円）		530	530
従事人工			

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

開催希望地区の申請が目標より多かったため開催回数が増加しました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、高齢者が健康に関心を持ち、介護予防につながるよう、積極的に地域で開催される通いの場に関ってまいります。

所属

健康推進課

振興計画

第２章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
２－３ いきいきと暮らせるよう介護予防を推進します

施策

２－３－１ 地域支援事業の充実

創生総合戦略

該当なし

目的

- 介護予防事業及び認知症施策の推進、地域支え合い活動を充実します。

目標

１ 予防事業の展開

様々な担い手による多様化した介護予防サービスを提供する介護予防・日常生活支援総合事業を展開し、介護認定者数の伸びをおさえます。

２ 地域支え合い活動の充実

閉じこもり防止等のため地域で実施するサロン活動を支援するとともに、生活支援コーディネーターと連携し、通路除雪やごみ出し等の簡易な生活支援が地域での支え合いのもと行われるような仕組みづくりを進めます。

３ 認知症施策の展開

認知症地域支援推進員と連携し、認知症サポーターの養成や徘徊高齢者声掛け模擬訓練を実施し、認知症について地域での理解を深める取組を進めます。

実績

１ 予防事業の展開

- (１) 運動をする会や元気塾を開催するなど、介護予防の取組を実施しました。また、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、百歳体操の実施地区に保健師等が定期的に訪問し、支援を行いました。

２ 地域支え合い活動の充実

- (１) 新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、地域で実施するサロン活動等に対する支援を行いました。また、「介護予防・生活支援サポーター養成講座」等を開催し、担い手の育成に努めました。

３ 認知症施策の展開

- (１) 認知症地域支援推進員を配置し、認知症予防教室等の事業を実施しました。また、認知症初期集中支援チームを設置し、要介護認定を受けていない段階での介入を行い、医療や介護等の必要な支援に繋がりました。

区分		令和５年度目標	令和５年度実績
目標値	要介護認定者の伸び率	３．０％	０．８％
	生活支援サポーター新規活動者数	１０人	５２人
	認知症サポーターのうち、新規ボランティア活動者数	１０人	２人

理由 ※令和５年度目標と令和５年度実績の間に乖離がある場合

健康マイスター人材の活用による「ボランティアポイント事業」と生活支援事業を連動した結果、生活支援サポーターの新規活動者が増えました。
認知症サポーターの新規での登録者が少なかった。

目標の実現に向けた今後の取組

健康マイスター人材の活用による「ボランティアポイント事業」と生活支援事業の連携を継続していきます。
認知症サポーターの普及啓発を図っていきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 健康推進課 事業 介護保険利用者負担軽減事業費 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費

施策 2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 2-3-1 地域支援事業の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

社会福祉法人が実施する利用者負担の軽減に対する補助を行います。

目的

低所得者の負担軽減を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適正に支出された状態	適正に支出された状態	適正に支出しました。
活動指標	軽減補助が該当する社会福祉法人数	7 法人	5 法人
事業費（千円）		1,279	1,279
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

軽減補助を受けることのできる金額に達する社会福祉法人が2法人減になったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

継続して、利用者負担の軽減が図られるよう働きかけていきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 健康推進課 事業 在宅高齢者支援事業費 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費

施策 2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 2-3-1 地域支援事業の充実 創生総合戦略 該当なし

事業概要

介護保険以外の各種在宅福祉サービスに係る事業を実施します。

目的

在宅での生活を支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	在宅での生活が支援された状態	在宅での生活が支援された状態	在宅での生活を支援しました。
活動指標	各種サービスの種類	9 種類	9 種類
事業費（千円）		8,151	4,380
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

生活管理指導短期宿泊事業の利用者がいなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、高齢者が在宅で生活するための支援に取り組んでいきます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	介護保険特別会計繰出金	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2-2-1 関係機関との連携による地域保健体制の充実 2-3-1 地域支援事業の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

介護保険特別会計へ繰出しを行います。

目的

介護保険事業実施に対する市負担分等を介護保険特別会計に繰り入れるため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	適正に支出された状態	適正に支出された状態	適正に支出しました。
活動指標			
事業費（千円）		604,128	577,619
従事人工		0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

健康推進課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-4 みんなで支え合う社会保障の充実を図ります

施策

2-4-1 国民健康保険等の充実

創生総合戦略

該当なし

目的

1 予防に重点をおいた保健事業を実施することで、市民の自発的な健康づくりをサポートし、医療費の適正化を図ります。

目標

1 効果的な保健事業の実施

医療費や特定健診等データ分析に基づき、効果的な保健事業を実施し、健康づくりや疾病予防を市民に周知し、医療費の抑制を図ります。また、国民健康保険における特定健康診査や後期高齢者医療における健康診査の受診率向上を図るため、わかりやすい受診勧奨通知や自己負担の無料化を行います。

2 ジェネリック医薬品利用率の向上

ジェネリック医薬品の利用を促進することで、市民の自己負担の軽減及び医療費の抑制を図ります。また、利用率向上のため、ジェネリック利用差額通知等の啓発を行います。

実績

1 効果的な保健事業の実施

(1) 被保険者の健康増進のため、上山型温泉クアオルト事業を取り入れた健康講座をはじめとした各種健康づくり事業、人間ドッグ等を実施しました。また、生活習慣病を中心とした疾病予防に向けて、メタボリックシンドロームの該当者や予備群を減少させるため、特定健康検診、特定保健指導を無料で実施しました。未受診者に対しては、個別に受診勧奨の通知を送付しました。

2 ジェネリック医薬品利用率の向上

(1) レセプト点検により医療費適正化を推進し、医療費通知及びジェネリック医薬品差額通知による医療費削減の取組や適正受診の啓発を行うことにより、国保事業への理解と協力を得ながら事業の推進に努めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	特定健康診査受診率	60 %	49 %
	ジェネリック医薬品利用率	80 %	85 %

理由 ※令和５年度目標と令和５年度実績の間に乖離がある場合

特定健康診査については、国の掲げる60%を目標としましたが、及びませんでした。前年度の実績と比べると２%の増となっております。

目標の実現に向けた今後の取組

特定健康診査受診率を向上させるため、未受診者の傾向等を分析し、積極的に受診勧奨を行います。また、受診済者には健康年齢通知を発送し、市民の健康への関心を深めてまいります。医療費適正化の推進や医療費削減の取組も継続してまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	国民健康保険特別会計繰出金	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2－4－1 国民健康保険等の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

国民健康保険制度により、国民健康保険特別会計へ繰出します。 ・国民健康保険基盤安定化分 182,960千円 ・職員給与等 43,510千円 ・出産育児一時金 7,000千円 ・財政安定化分 24,018千円 ・事務費分 17,671千円

目的

国民健康保険制度に基づき、一般会計より適正な繰り出しを行うため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	制度に基づき適正に繰出されている状態	適正な繰出しをしている状態	—
活動指標			
事業費（千円）		275,159	258,548
従事人工		0.1	—

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	特定健康診査等事業費	予算科目	02国民健康保険特別会計・05保健事業費・01特定健康診査等事業費・01特定健康診査等事業費
施策	2-4-1 国民健康保険等の充実			創生総合戦略	プロジェクト名 施策分類名 施策名（第2期創生総合戦略）

事業概要

特定健康診査や人間ドックを実施し、対象者に対し特定保健指導を行います。 ○ 特定健康診査 3,200人（40歳以上の被保険者、ドックも含めて60%）
○ 人間ドック 1,500人、特定保健指導（動機付け支援）300人 ○ 特定保健指導（積極的支援）70人、世帯調査表郵送 国保世帯分 ○ 事務費を措置 ※平成26年度より特定健康診査の自己負担の無料化を実施

目的

国民健康保険被保険者へ特定健診等を実施し、健康状態を維持し、重症化を予防するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	特定健康診査・特定保健指導の実施者が増加している状態	事業の必要性を認識し、健康を維持する状態	市民が特定健康診査を受診し、必要な特定保健指導を受けました。
活動指標	特定健康診査受診者数	2,750 人	2,255 人
事業費（千円）		69,698	46,562
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費は対象者の60%程度を計上しています。被保険者数が減少しているため、受診者数も減少していますが、受診率は2%の増となりました。また、未受診者の多くは医療機関に通院していることがわかりました。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、受診勧奨事業を民間事業者に委託し、また、通院歴のある未受診者については、県が実施しているモデル事業の「みなし健診」に先進的に取り組むなどし、受診率の向上を行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	健康推進課	事業	健康づくり推進事業費	予算科目	02国民健康保険特別会計・05保健事業費・02保健事業費・01保健衛生普及費
施策	2－4－1 国民健康保険等の充実			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 市民の健康づくりの推進

事業概要

保健指導や健康教育を実施し、市民の健康づくりを促進する。

目的

予防に重点をおいた保健指導や健康教育を行い、自発的な健康づくりを促し、医療費の適正化を推進するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	健康づくり事業による、市民の健康づくり意識の高揚及び参加者の増加している状態	市民が健康づくりに関心が増す状態	市民が健康づくり事業に参加して、意識の高揚が図られました。
活動指標	医療費通知送付対象月数	12 月	12 月
事業費（千円）		11,261	8,487
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も、健康づくり教室等気軽に参加できる事業を開催・周知するとともに、ジェネリック薬品差額通知などにより医療費に対する関心を深めていきます。

所属

市民生活課

振興計画

第２章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
２－４ みんなで支え合う社会保障の充実を図ります

施策

２－４－２ 国民年金制度の推進

創生総合戦略

該当なし

目的

２ 将来の経済基盤である年金の確保のため、来庁時の情報提供等を細やかにし、国民年金保険料収納率の向上を図ります。

目標

１ 国民年金制度の周知と収納率の向上

市報・ホームページの活用と年金事務所との連携により国民年金制度の周知に努めます。また、窓口での適切な納付方法や減免制度の情報提供により、国民年金保険料の収納率向上を図ります。

実績

１ 国民年金制度の周知と収納率の向上

（１）市報及びホームページへ６回掲載し、電子申請による手続き、納付や免除方法等について情報提供を行うことで国民年金制度の周知を図り、また、窓口相談により適切な情報提供により国民年金保険料の収納率の目標値に達することができました。

区分		令和５年度目標	令和５年度実績
目標値	国民年金保険料収納率	82.0 %	85.9 %

理由 ※令和５年度目標と令和５年度実績の間に乖離がある場合

国民年金制度の周知と、窓口での納付方法や減免制度の情報提供により納付に繋ぐことができました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き窓口での適切な情報提供及び市報・ホームページを活用した国民年金制度の周知を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

市民生活課

事業

国民年金事務費

予算科目

01一般会計・03民生費・01社会福祉費・04国民年金費

施策

2－4－2 国民年金制度の推進

創生総合戦略

該当なし

事業概要

来庁者へ適切な年金情報を提供するほか市報・ホームページを活用し、国民年金制度を周知します。また、年金事務所と連携して収納率向上を図ります。

目的

市民への年金制度周知を強め、国民年金の財源である年金保険料の収納率向上により、老後の健全な生活基盤の確保に資するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	国民年金保険料が適切に納付されている状態	国民年金保険料が納付又は減免手続きが取られている状態	国民年金保険料が適切に納付され、必要な減免手続きがなされました。
活動指標	市報への国民年金制度の掲載回数	6 回	6 回
	ホームページの情報更新回数	5 回	6 回
事業費（千円）		224	223
従事人工		1	1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報やホームページで情報提供を行い、受給資格取得手続きのため制度案内を行ってまいります。

所属

福祉課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-5 市民同士が助け合う地域福祉を推進します

施策

2-5-1 地域で支え合う福祉の充実

創生総合戦略

該当なし

目的

- 1 市民による多様な地域福祉活動が実践されるよう、福祉に対する理解を高めながら関係団体の連携を強化します。

目標

1 助け合い活動の推進

社会福祉協議会の活動に対する支援を通して、身近な福祉課題解決に向けた地区福祉会議の開催や、福祉ボランティアの育成等により、市民の助け合い活動を推進します。

2 民生児童委員の円滑な活動を支援する体制づくり

研修会等を開催し、民生児童委員の知識を高めるとともに、活動を市民に周知することで、行政と住民のつなぎ役である民生児童委員の、円滑な活動を支援する体制づくりを進めます。

3 福祉関係団体の連携強化と福祉意識の向上

福祉大会、ボランティアフェスタ、戦没者追悼式等をととして、社会福祉協議会、身体障がい者福祉協会、福祉施設等と連携を強化し、市民の福祉に関する意識を高めます。

実績

1 助け合い活動の推進

- (1) 社会福祉協議会へ運営事業補助金を交付し福祉事業の推進を支援しました。地区福祉連絡会の設置や福祉協力員の配置等により、身近な地域での市民の助け合い活動が促進されました。

2 民生児童委員の円滑な活動を支援する体制づくり

- (1) 市主催全体研修会を2回開催しました。欠員が生じている地区会に民生児童委員の活動について説明を行う機会を設けました。

3 福祉関係団体の連携強化と福祉意識の向上

- (1) 福祉大会や戦没者追悼式等を通して、社会福祉協議会、身体障がい者福祉協会、福祉施設等と連携を強化し、市民の福祉に関する意識を高めました。
コロナ禍以降、ボランティアフェスタはボランティア体験ブースや各福祉施設の物販を休止し、社会福祉協議会福祉功労者表彰と写真展示による活動紹介のみを福祉大会と同日に実施してきましたが、令和5年度からは福祉大会の中で社会福祉協議会福祉功労者表彰と写真展示を行うこととし、ボランティアフェスタは開催しないこととしました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	福祉ボランティア団体数	26 団体	19 団体
	民生児童委員の充足率	100 %	91 %
	福祉関係大会の参加者数	840 人	220 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

福祉ボランティア団体数は、高齢化等により活動休止する団体が増えたためです。福祉関係大会の参加者数は、中川地区遺族会の解散による戦没者追悼式への参列者数の減と、ボランティアフェスタを開催しなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

社会福祉協議会の福祉事業を支援するとともに、関係団体の連携を強化し、市民による多様な地域福祉活動に関する理解を高められるよう、福祉大会等の開催を推進します。また、民生児童委員が円滑に活動をできるよう支援します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	基金積立金	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2－5－1 地域で支えあう福祉の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

長寿社会福祉基金積立金利子

目的

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	資金がいつでも運用できる状態	基金の残高が多い状態	長寿社会福祉基金は、令和5年度末に廃止しました。
活動指標	基準積立額	3 千円	1 千円
事業費（千円）		3	1
従事人工		0.01	0.01

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

長寿社会における高齢者福祉事業については、介護保険事業等により推進します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	民生委員・児童委員活動費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2－5－1 地域で支え合う福祉の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

民生委員・児童委員の活動支援のため下記の事業を実施します。 ①活動費及び連合協議会運営補助金を交付（県委託金） ②一斉改選及び欠員補充のための民生委員推薦会の開催 ③民生委員・児童委員の資質向上のための研修会を開催

目的

社会福祉を推進し、地域で支え合う福祉の実現を目指すため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	民生委員・児童委員の地域における相談等の活動が促進されている状態	民生委員・児童委員の相談活動が促進されている状態	民生委員・児童委員の相談活動が促進されました。
活動指標	民生委員推薦会の開催回数	3 回	2 回
	民生委員・児童委員全員対象研修会の開催回数	2 回	2 回
事業費（千円）		7,350	7,028
従事人工		0.7	0.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

活動費及び連合協議会運営補助金を交付するとともに、資質向上のための研修会を開催し、民生委員・児童委員が円滑に地域での相談活動等を行えるよう支援します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	社会福祉関係団体助成費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2-5-1 地域で支え合う福祉の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

被害者支援センターやまがたに負担金を交付します。県更生保護事業協会賛助金、社会福祉協議会運営及び事業補助、寿荘改修工事補助、市内社会福祉関係団体（遺族会、更生保護女性会、保護司会、理容組合）への補助金を交付します。

目的

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	福祉関係団体の活動が促進されている状態	福祉関係団体の活動が促進されている状態	福祉関係団体に補助金を交付しました。
活動指標	補助をしている福祉団体数	6 団体	6 団体
事業費（千円）		21,794	21,750
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

市民の福祉意識を向上させるため福祉関係団体の活動を促進し、補助金交付を適正に実施します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	社会福祉総務費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2-5-1 地域で支え合う福祉の充実 1-1-1 結婚に導く環境づくり			創生総合戦略	3 かみのやま「産んでよし・育ててよし」プロジェクト 結婚支援の仕組づくり ■結婚につながる出会いの機会の創出と支援情報の提供

事業概要

福祉大会を実施します。戦没者追悼式、福祉バスの運行の委託を行います。 出会いから結婚に至るまでの継続的な支援を行なうための下記の事業を実施します。①上山市結婚サポーター（仲人）の活動支援 ②やまがたハッピーサポートセンターとの連携（企業間独身交流等 ③結婚新生活支援事業

目的

少子化対策として、本市の未婚化・晩婚化を改善し、結婚を応援する機運の醸成と結婚につながる出会いの場を創出するため。また、社会福祉を推進し、地域で支え合う福祉の実現を目指すため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	福祉関係大会に多くの市民が参加するよう、実行委員会を開催し内容を検討している状態 結婚支援に携わる個人・団体の活動が盛んになっている状態	福祉関係大会実行委員会を開催している状態 結婚支援に携わる個人・団体の活動が盛んになっている状態	結婚支援に携わる個人・団体の活動が盛んになりました。 福祉関係大会実行委員会を開催しました。
活動指標	福祉関係大会実行委員会の開催数	4 回	1 回
	サポーター情報交換会開催回数	12 回	12 回
事業費（千円）		13,015	6,572
従事人工		0.7	0.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

福祉大会実行委員会は、事前にアンケートを実施し意見集約を行った上で開催したことにより、1回で十分だったためです。結婚新生活支援事業の申請者が、予想よりも下回ったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

やまがたハッピーサポートセンター等と連携し、結婚サポーターの支援を行います。関係機関と連携しながら、参加しやすい福祉関係大会を開催していきます。

所属

福祉課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-6 生きがいと安心を重視した高齢者福祉を推進します

施策

2-6-1 高齢者の生きがいがづくり

創生総合戦略 4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 高齢者の生きがいがづくりの推進

目的

1 元気な高齢者が、自分の知識や技術を活かしながら生きがいを持って活動・交流できる場を充実させます。

目標

1 社会参加の促進

高齢者が交流し生きがいを持って活動できるように、常設高齢者サロンを継続するとともに、老人クラブの活動支援を行い高齢者の社会参加を促進します。

2 生きがい就労とボランティア活動の促進

生きがい就労やボランティア活動を促進することにより高齢者の知識や経験を活かせる場を増やします。

実績

1 社会参加の促進

(1) 常設高齢者サロンでは、支援員を配置して運営を行い、利用者と講師がそれぞれの役割を担って自主的に活動できるような体制を整え、イベントを開催しました。また、老人クラブ連合会に補助金を交付し、活動を支援しました。

2 生きがい就労とボランティア活動の促進

(1) シルバー人材センターに補助金を交付して活動を支援し、生きがい就労を促進しました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	まじやれの参加者数	9,400 人	3,984 人
	シルバー人材センターの会員数	305 人	306 人

理由 ※令和５年度目標と令和５年度実績の間に乖離がある場合

まじゃれの参加者数については、コロナ禍以降は人気がある歌のイベントを実施していないことや、前年度より増えてはいるものの新規参加者数の増加がゆるやかなためです。

目標の実現に向けた今後の取組

元気な高齢者の交流と生きがいを持てる場所としてのシルバー人材センターの活動を支援します。常設高齢者サロンについては、魅力あるイベントの実施や周知に努め参加者数の増加を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	常設高齢者サロン運営費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2－6－1 高齢者の生きがいがづくり			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 高齢者の生きがいがづくりの推進

事業概要

まちなかに高齢者がいつでも立ち寄り交流できる施設を整備し、介護予防活動や生きがいがづくりの拠点として、ショッピングプラザカミン2階に平成23年9月21日開所。平成30年度から二日町プラザ2階に場所を設置、合わせて業務を二日町再開発（株）に委託し、高齢者の生きがいがづくりに寄与していきます。

目的

まちなかに高齢者がいつでも立ち寄り、介護予防活動や生きがいがづくりで交流できる拠点として、中心地に場所を設置、併せて二日町再開発（株）に業務を委託し、高齢者の生きがいがづくりに寄与していきます。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	高齢者サロン「まじやれ」が利用されている状態	利用者が交流できるよう、新規イベントの開拓を行った状態	通年で新規イベントの募集を行い、市（運営委託者）、二日町再開発株式会社（運営受託者）、相談員の三者で毎月定例会を開催し、新規イベントの開拓について話しをしました。
活動指標	開設日数	253 日	252 日
事業費（千円）		4,811	4,804
従事人工		0.1	0.1

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き新規イベントの募集を行うとともに、高齢者のイベントに対するニーズの把握に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	高齢者福祉事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2-6-1 高齢者の生きがいづくり 2-6-2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 高齢者の生きがいづくりの推進

事業概要

シルバー人材センターや老人クラブ、地区敬老事業などへの活動支援と、老人ホーム入所措置（高齢者虐待による入所を含む）を行います。

目的

高齢者の生きがいのための活動の場を充実し、生涯住み慣れた地域で安全・安心な暮らしができるようにするため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	高齢者が生きがいを持ちながら、安全・安心に暮らしている状態	高齢者が生きがいを持ちながら、安全・安心に暮らしている状態	各団体へ補助金を交付しました。入所判定委員会を開催し、欠員に応じた入所措置を行いました。高齢者虐待による入所も関係者と連携し速やかに行いました。
活動指標	老人クラブの会員数	600 人	439 人
	4 / 1 現在養護老人ホーム入所者数	50 人	48 人
事業費（千円）		117,391	114,972
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

老人クラブ運営者の高齢化が進み、新規加入者が減少傾向にあるためです。

目標の実現に向けた今後の取組

高齢者の就労・生きがいの場となるシルバー人材センターの活動を支援するとともに、関係機関と連携し、高齢者の社会参加の促進および安全の確保を図ります。

所属 福祉課 振興計画 第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-6 生きがいと安心を重視した高齢者福祉を推進します 施策 2-6-2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保

創生総合戦略 4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 高齢者の生きがいつくりの推進

目的

2 ひとり暮らし高齢者等の孤独・孤立感を緩和し、安全・安心に暮らせる社会を実現します。

目標

1 高齢者の孤独・孤立感の緩和

安心見守りサービス事業等の実施により、高齢者の孤独・孤立感を緩和するとともに、地域でのつながりを保ちながら、安全・安心に生活できる支援を継続して、関係機関や協力企業等による高齢者等の見守りネットワーク作りを進めます。

実績

1 高齢者の孤独・孤立感の緩和

(1) 社会福祉協議会、シルバー人材センターと連携し、高齢者の見守り・配食サービスを実施するとともに、関係機関や協力団体等による見守りネットワーク等により、高齢者が安全・安心に暮らすための支援を進めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	安心見守りサービスの利用世帯数	50 世帯	37 世帯

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

安心見守りサービスは、新規の利用者はいるものの、老人ホーム等への入所や死亡により利用者が減少しているからです。

目標の実現に向けた今後の取組

関係機関や民生児童委員等に安心見守りサービス利用の支援体制や効果を説明して、利用を促す働きかけを行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	灯油購入費等助成事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2－6－2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保			創生総合戦略	該当なし

事業概要

本市における低所得世帯の冬期間の暖房費等支出による経済的負担の軽減を図るため、対象世帯1世帯あたり5千円の支給を実施します。

目的

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	対象世帯の経済的負担の軽減が図られる状態	対象世帯の経済的負担が軽減された状態	対象世帯の経済的負担が軽減しました。
活動指標	対象世帯への通知率	100 %	100 %
事業費（千円）		20,232	18,610
従事人工		0.4	0.4

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

想定よりも申請者数が下回ったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

山形県との連携により、低所得世帯の冬期間の生活と経済的負担の軽減を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	新型コロナウイルス感染症対策費（低所得世帯支援）	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2－6－2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保			創生総合戦略	該当なし

事業概要

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金における「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用して、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）の負担軽減を図るため、1世帯あたり30千円の支援給付金を対象の2,900世帯に支給します。

目的

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた低所得世帯を支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	対象者に給付金が支給されている状態	対象者に給付金が支給されている状態	対象者に給付金を支給しました。
活動指標	対象者の給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		91,300	85,937
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

事業は終了しましたが、今後の給付事業を通して低所得者世帯の負担軽減を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 物価高騰対応低所得世帯支援給付金事業費 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費

施策 2－6－2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保 創生総合戦略 該当なし

事業概要

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯を迅速に支援するため、住民税非課税世帯に対し、物価高騰対応低所得世帯支援給付金1世帯あたり70千円を対象の2,900世帯に支給します。

目的

物価高騰の負担感が大きい低所得世帯を支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	対象世帯の経済的負担が軽減した状態	対象世帯の経済的負担が軽減した状態	対象世帯の経済的負担が軽減しました。
活動指標	対象者の給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		205,300	197,363
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

想定よりも対象世帯数が少なかったからです。

目標の実現に向けた今後の取組

事業は終了しましたが、今後の給付事業を通して低所得者世帯の負担軽減を図ってまいります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	低所得者支援及び定額減税補足給付金事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・01社会福祉総務費
施策	2-6-2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保			創生総合戦略	該当なし

事業概要

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用して、物価高騰の現下の状況に鑑み、定額減税の恩恵を十分に受け入れられないと見込まれる所得水準者等を支援するため、低所得者や定額減税を受けられない住民税均等割のみ課税世帯に10万円を給付し、住民税非課税世帯と住民税均等割のみ課税世帯の18歳以下の子に1人5万円の給付金を支給します。

目的

低所得者や定額減税を受け入れられないと見込まれる所得水準者等を支援するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	対象世帯の経済的負担が軽減した状態	対象世帯の経済的負担が軽減した状態	対象世帯の経済的負担が軽減しました。
活動指標	対象者の給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		88,000	84,272
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

想定よりも対象世帯数が少なかったからです。

目標の実現に向けた今後の取組

対象世帯の経済的負担の軽減を図り、生活を支援します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	高齢者福祉事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・03高齢者福祉費
施策	2-6-1 高齢者の生きがいづくり 2-6-2 高齢者の安全・安心な暮らしの確保			創生総合戦略	4 かみのやま「住んでよし」プロジェクト 誰もが快適に住み続けられる環境づくり 高齢者の生きがいづくりの推進

事業概要

シルバー人材センターや老人クラブ、地区敬老事業などへの活動支援と、老人ホーム入所措置（高齢者虐待による入所を含む）を行います。

目的

高齢者の生きがいのための活動の場を充実し、生涯住み慣れた地域で安全・安心な暮らしができるようにするため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	高齢者が生きがいを持ちながら、安全・安心に暮らしている状態	高齢者が生きがいを持ちながら、安全・安心に暮らしている状態	各団体へ補助金を交付しました。入所判定委員会を開催し、欠員に応じた入所措置を行いました。高齢者虐待による入所も関係者と連携し速やかに行いました。
活動指標	老人クラブの会員数	600 人	439 人
	4 / 1 現在養護老人ホーム入所者数	50 人	48 人
事業費（千円）		117,391	114,972
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

老人クラブ運営者の高齢化が進み、新規加入者が減少傾向にあるためです。

目標の実現に向けた今後の取組

高齢者の就労・生きがいの場となるシルバー人材センターの活動を支援するとともに、関係機関と連携し、高齢者の社会参加の促進および安全の確保を図ります。

令和5年度 主要施策の成果説明書

所属

福祉課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-7 障がい者福祉の充実を図ります

施策

2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実

創生総合戦略

該当なし

目的

1 一人ひとりの障がいに応じた福祉サービス提供体制を充実します。

目標

1 相談支援体制の充実

障がい者が自立した生活を実現するため、障がい福祉サービス事業所や障がい福祉関係機関で構成される地域自立支援協議会の活動を推進しながら、地域における相談支援体制を充実させます。

実績

1 相談支援体制の充実

(1) 地域自立支援協議会と連携しながら、障がい福祉サービス事業所のスキルアップを図る取組を実施するとともに、地域の相談支援体制の充実を図りました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	障がい福祉サービス利用者の割合	17 %	23 %

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

相談支援事業所や障がい福祉サービスの事業所との連携を密にし、支援が必要な方の障がい特性に応じた福祉サービスの提供を実現し利用者が増加したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

地域自立支援協議会の構成事業所等との連携を図り、相談体制を拡充し相談しやすい環境の整備を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	障がい者福祉事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費
施策	2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実 2-7-2 障がいの社会参加と障がい者理解の促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

障がい者相談員を委嘱するとともに、タクシー利用券の交付、紙おむつの給付、身体障がい児・者の医療費の助成、人工透析患者通院交通費の助成、在宅酸素療法者支援、障がい者世帯の除雪支援を実施します。

目的

障がいのある人が心身の状況や生活環境に応じた多様なサービスにより、自宅や地域、施設で安心して生活を営むため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	要件の該当する障がい者全員にサービスが提供できる状態	申請者全員にサービスを提供できる状態	更生医療費、在宅酸素療法者支援事業助成、人工透析患者通院交通費助成等、必要なサービスの提供に努めました。
活動指標	更生医療給付割合	100 %	100 %
	タクシー券交付割合	100 %	100 %
事業費（千円）		48,978	41,759
従事人工		0.8	0.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

手帳の交付時等に障がい者福祉制度の説明や資料配布を行い、適正なサービス利用の周知を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	地域生活支援事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費
施策	2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実 2-7-2 障がいの社会参加と障がい者理解の促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

日常生活用具の給付、成年後見制度の利用支援、訪問入浴サービス、移動支援、日中一時支援等の事業を実施します。

目的

障がい者及び障がい児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者等の福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	要件の該当する障がい者全員にサービスが提供できる状態	申請者全員にサービスを提供できる状態	日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、移動支援、日中一時支援等のサービスの利用希望者に対し、利用しやすい環境をつくりサービスを提供しました。
活動指標	日常生活用具給付割合	100 %	100 %
	訪問入浴サービス利用割合	100 %	100 %
事業費（千円）		27,314	21,567
従事人工		0.7	0.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

手帳の交付時等に障がい者福祉制度の説明や資料配布を行うとともに、市身体障がい者福祉協会との連携及び相談支援事業所の周知に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 福祉課 事業 障がい福祉サービス給付費 予算科目 01一般会計・03民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費

施策 2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実 2-7-2 障がいの社会参加と障がい者理解の促進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

在宅生活の支援として、居宅介護、同行援護、重度訪問介護の各サービス、入所や通所による日中活動の支援として、療養介護、生活介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援の各サービス、施設、グループホームでの夜間の支援として、施設入所支援、共同生活援助の各サービスを利用できるよう給付費を支給します。

目的

障がいのある方が日常生活に必要な支援を受けられる「介護給付」や自立した生活に必要な知識や技術を身につける「訓練等給付」といった必要不可欠なサービスを提供するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	障がいのある人が自らの選択により、必要なサービスを利用しながら、地域の中で生き生きと自立した生活が送れる状態	申請者全員にサービス給付費を支給できる状態	障がいのある方が日常生活に必要な支援を受けられるよう、適正なサービスを提供しました。
活動指標	生活介護サービス給付割合	100 %	100 %
	就労継続支援B型サービス給付割合	100 %	100 %
事業費（千円）		630,810	613,886
従事人工		0.9	0.9

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

国の方針を踏まえ、適正なサービスが提供できるよう、相談支援事業所との連携強化を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

福祉課

事業

障がい児施設給付・医療費

予算科目

01一般会計・03民生費・02児童福祉費・02児童措置費

施策

1-1-2 子育てに関する施設利用と経済的支援の充実 2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実

創生総合戦略

該当なし

事業概要

児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、肢体不自由児通所医療費、障害児相談支援の各サービスを利用できるよう、給付費を支給します。

目的

障がいのある児童に対し、身近な地域で障がい特性に応じた専門的な支援を適用するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	障がいのある児童が、障がい特性に応じた専門的な支援が受けられる状態	支援が必要な障がい児にサービス給付費を支給できる状態	障がいのある児童に対し、特性に応じた支援を受けられるようにすると共に、サービス給付費を支給しました。
活動指標	放課後等デイサービス給付費支給率	100 %	100 %
	児童発達支援給付費支給率	100 %	100 %
	障害児相談支援給付費支給率	100 %	100 %
事業費（千円）		187,567	178,256
従事人工		0.2	0.2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

各関係機関との連携を図り、障がいに応じた適切なサービスに繋がるよう、相談支援事業所との連携強化を図っていきます。

所属

福祉課

振興計画

第2章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2-7 障がい者福祉の充実を図ります

施策

2-7-2 障がい者の社会参加と障がい者理解の促進

創生総合戦略

該当なし

目的

2 障がい者の社会参加と自立を促進するために、障がいに対する市民の理解を深める「心のバリアフリー化」を進めます。

目標

1 障がい者の社会参加と自立の支援

障がい者が社会参加しやすい環境づくりを進めるとともに、障がい者就労支援施設等を利用することにより、自立に向けた支援を推進します。

2 共生社会を推進するための普及啓発

地域自立支援協議会と連携して、市民の障がい者福祉についての理解を深めるための広報・啓発活動を推進して、共に生きる地域づくりを目指します。

実績

1 障がい者の社会参加と自立の支援

(1) 就労継続支援のサービス利用者が一般就労を開始するなど、適正なサービスの提供により、自立に向けた支援を行うことができました。

2 共生社会を推進するための普及啓発

(1) 障がいに対する市民の理解を深めるため、障がい福祉サービス事業所等で構成される地域自立支援協議会と連携し、事業所の紹介やマルシェを開催し、就労支援事業所の活動の支援や啓発に努めました。

区分		令和5年度目標	令和5年度実績
目標値	障がい者就労支援施設等利用者の割合	30 %	27 %
	地域総合支援協議会による啓発事業参加者数	150 人	250 人

理由 ※令和5年度目標と令和5年度実績の間に乖離がある場合

地域自立支援協議会と連携し、研修会、講演会、児童文化イベント、マルシェなどを実施し、市民の理解を深めるための啓発活動を開催したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

障がい福祉サービス事業所や地域自立支援協議会と協働し、自立に向けた効果的な就労支援や、市民の理解を深めるための啓発活動を継続します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

福祉課

事業

身体障がい者・知的障がい者福祉給付費

予算科目

01一般会計・03民生費・01社会福祉費・06福祉給付費

施策

2-7-2 障がい者の社会参加と障がい者理解の促進

創生総合戦略

該当なし

事業概要

障がい者への生活支援事業で、精神または身体に重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある人を対象に特別障害者手当（20歳以上）、障害児福祉手当（20歳未満）の支給及び日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある20歳未満の人を扶養している保護者に支給される特別児童扶養手当に関する事務を行います。

目的

障がい者、障がい児を養育する保護者に手当を支給し支援することで、障害者福祉の向上に寄与するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	該当者に手当が支給されている状態	支援が必要な障がい児者に手当を支給できる状態	支援が必要な障がい者、障がい児を養育する保護者に手当を支給しました。
活動指標	特別障害者手当給付率	100 %	100 %
	障害児福祉手当給付率	100 %	100 %
	特別児童扶養手当給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		23,322	22,745
従事人工		0.4	0.4

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

手帳交付時や、ホームページ、市報等により該当者へ手当受給の手続き等の周知を行います。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	障がい者福祉事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費
施策	2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実 2-7-2 障がいの社会参加と障がい者理解の促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

障がい者相談員を委嘱するとともに、タクシー利用券の交付、紙おむつの給付、身体障がい児・者の医療費の助成、人工透析患者通院交通費の助成、在宅酸素療法者支援、障がい者世帯の除雪支援を実施します。

目的

障がいのある人が心身の状況や生活環境に応じた多様なサービスにより、自宅や地域、施設で安心して生活を営むため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	要件の該当する障がい者全員にサービスが提供できる状態	申請者全員にサービスを提供できる状態	更生医療費、在宅酸素療法者支援事業助成、人工透析患者通院交通費助成等、必要なサービスの提供に努めました。
活動指標	更生医療給付割合	100 %	100 %
	タクシー券交付割合	100 %	100 %
事業費（千円）		48,978	41,759
従事人工		0.8	0.8

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

手帳の交付時等に障がい者福祉制度の説明や資料配布を行い、適正なサービス利用の周知を図ります。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	地域生活支援事業費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費
施策	2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実 2-7-2 障がいの社会参加と障がい者理解の促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

日常生活用具の給付、成年後見制度の利用支援、訪問入浴サービス、移動支援、日中一時支援等の事業を実施します。

目的

障がい者及び障がい児が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい者等の福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	要件の該当する障がい者全員にサービスが提供できる状態	申請者全員にサービスを提供できる状態	日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、移動支援、日中一時支援等のサービスの利用希望者に対し、利用しやすい環境をつくりサービスを提供しました。
活動指標	日常生活用具給付割合	100 %	100 %
	訪問入浴サービス利用割合	100 %	100 %
事業費（千円）		27,314	21,567
従事人工		0.7	0.7

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

手帳の交付時等に障がい者福祉制度の説明や資料配布を行うとともに、市身体障がい者福祉協会との連携及び相談支援事業所の周知に努めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	障がい福祉サービス給付費	予算科目	01一般会計・03民生費・01社会福祉費・02障がい者福祉費
施策	2-7-1 障がい福祉サービスにおける相談支援の充実 2-7-2 障がいの社会参加と障がい者理解の促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

在宅生活の支援として、居宅介護、同行援護、重度訪問介護の各サービス、入所や通所による日中活動の支援として、療養介護、生活介護、短期入所、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援の各サービス、施設、グループホームでの夜間の支援として、施設入所支援、共同生活援助の各サービスを利用できるよう給付費を支給します。

目的

障がいのある方が日常生活に必要な支援を受けられる「介護給付」や自立した生活に必要な知識や技術を身につける「訓練等給付」といった必要不可欠なサービスを提供するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	障がいのある人が自らの選択により、必要なサービスを利用しながら、地域の中で生き生きと自立した生活が送れる状態	申請者全員にサービス給付費を支給できる状態	障がいのある方が日常生活に必要な支援を受けられるよう、適正なサービスを提供しました。
活動指標	生活介護サービス給付割合	100 %	100 %
	就労継続支援B型サービス給付割合	100 %	100 %
事業費（千円）		630,810	613,886
従事人工		0.9	0.9

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

国の方針を踏まえ、適正なサービスが提供できるよう、相談支援事業所との連携強化を図ります。

令和５年度 主要施策の成果説明書

所属 福祉課 振興計画 第２章 やすらぐ『元気であたたかいまち』
2－８ 生活困窮者等の自立に向けた支援を推進します 施策 2－８－１ 生活困窮者の社会参加と就労支援を推進する体制の充実

創生総合戦略 該当なし

目的

１ 生活保護に至る前の段階で引きこもり、失業、病気、多重債務等複合的な問題を抱える人たちの相談支援体制の充実を図ります。また、生活保護受給者への自立に向けた就労支援等を実施します。

目標

１ 生活困窮者等の早期把握と継続的な支援
民生児童委員、関係機関等との連携を強化し、地域における生活困窮者の早期把握に努め、一人ひとりの状況に応じた適切な支援を計画的、継続的に行います。また、生活保護受給者の稼働能力把握、就労指導等の支援を実施するとともに、公共職業安定所との連携を推進します。

実績

１ 生活困窮者等の早期把握と継続的な支援
(１) 社会福祉協議会との連携により、生活困窮者等を早期に把握して、生活状況に応じた切れ目のない支援を実施しました。

区分		令和５年度目標	令和５年度実績
目標値	稼働収入増による自立世帯数の割合	８％	25％

理由 ※令和５年度目標と令和５年度実績の間に乖離がある場合

生活保護受給者等就労自立促進事業を利用するなどして、新規就労により自立したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

生活保護受給者等就労自立促進事業を継続するとともに、ハローワークでの積極的な就職活動を促し、稼働収入増を目指します。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	生活保護総務費	予算科目	01一般会計・03民生費・03生活保護費・01生活保護総務費
施策	2－8－1 生活困窮者の社会参加と就労支援を推進する体制の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

生活に困窮するすべての要保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行います。 ①生活保護システムクラウドサービス利用 ②生活保護面接相談員兼被保護者就労支援員の配置（会計年度任用職員） ③被保護者健康管理支援事業

目的

健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	生活保護を必要とする世帯が、確実に保護を受けている状態	保護が必要な世帯が、保護を受けている状態	保護が必要な世帯に、保護を適用しました。
活動指標	生活保護世帯訪問調査日数（月）	12 日	10 日
事業費（千円）		18,914	16,139
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

被保護者健康管理支援事業に係るデータ分析について、サービス提供が遅れたため、費用が減額されたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

ケースワーカーの訪問活動により生活状況の把握に努め、病院、介護事業所、職業安定所などの関係者と連携しながら生活支援や就労支援を積極的に進めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

福祉課

事業

生活保護援護事業費

予算科目

01一般会計・03民生費・03生活保護費・02扶助費

施策

2-8-1 生活困窮者の社会参加と就労支援を推進する体制の充実

創生総合戦略

該当なし

事業概要

生活困窮者に対して最低限度の生活を送るため、生活扶助、医療扶助、介護扶助などの扶助費を支給します。

目的

市民全員の最低限度の生活を保障するため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	市民全員の最低限度の生活が保障されている状態	市民全員の最低限度の生活が保障されている状態	市民全員の最低限度の生活が保障されている状態にしました。
活動指標	扶助費支給者数	195 人	155 人
事業費（千円）		291,842	289,383
従事人工		2	2

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

老人福祉施設入所や長期入院、転出により、生活保護から自立する対象者が増えたことによるものです。

目標の実現に向けた今後の取組

ケースワーカーの訪問活動により生活状況の把握に努め、病院、介護事業所、職業安定所などの関係者と連携しながら生活支援や就労支援を積極的に進めます。

令和5年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	福祉課	事業	生活困窮者自立支援費	予算科目	01一般会計・03民生費・03生活保護費・01生活保護総務費
施策	2－8－1 生活困窮者の社会参加と就労支援を推進する体制の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行され、全国の福祉事務所設置自治体で、生活保護受給者以外の生活困窮者（失業者、多重債務者、引きこもり等）に対して、早期で包括的な支援を行います。

目的

生活困窮者の課題は多様で複合的であることから、「制度の狭間」に陥らないよう、就労の課題、心身の不調、家計の問題、家族問題などの多様な問題に対応する「第2のセーフティネット」を拡充し、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため。

区分		令和5年度予算	令和5年度実績
目標	生活自立支援センターの支援により、生活保護に陥らない状態	生活自立支援センターを開設している状態	生活自立支援センターを開設しました。
活動指標	住居確保給付金給付率	100 %	100 %
事業費（千円）		13,378	11,409
従事人工		0.5	0.5

理由 ※令和5年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

住居確保給付金の申請が少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

生活自立支援センター（社会福祉協議会）と連携し、生活困窮者の情報共有を行い、切れ目のない、必要な支援を実施します。